

○開催日時：2022年（令和4年）11月25日（金） 19時～20時

○開催場所：松林公民館 1階講義室

○出席者：19名（会員26名） 出席率：73%

小川・小澤・川口・手代木・早川・小池・今井・山本・正札・上村・高橋・神原・大野・宮本・村松・森・本田・岩城・吉原（敬称略）

○内容 *議事進行：吉原部会長

1. 吉原部会長の挨拶

- ・11月23日の令和4年度松林地区防災訓練参加へのお礼。

2. 令和4年度松林地区防災訓練について

1) 安否確認訓練（午前の部）について

- ・別紙「令和4年度 安否確認訓練集計表」を配布したが、無事確認表示方法の欄が無記入であった為各自治会担当に確認をした。また各自治会から、事前通達から当日の活動等に関する報告があった。

上赤：9月3日と11月の2回におしらせの回覧（当日留守にする場合は事前に組長報告をするように指示）。当日は消防団が巡回。

室田：9月と11月の2回おしらせを全戸配布。また11月に組長会議を行った。

ニュータウン：9月におしらせを回覧。災害時要支援者の宅へは民生委員が別に確認をした。

ワトス：11月10日におしらせを全戸配布。11月19日に役員会。当日はインターフォンにより全戸へ緊急放送（訓練）を行った。

2) 松林中学校における施設見学と体験（午後の部）について

- ・参加人数と当日の状況などが各自治会から報告された。

上赤：雨の中を徒歩で2名参加。高齢者には気の毒であった。

Q) 雨天中止にしなかった理由は。A) 起震車については雨の状況次第で中止も考え

ていたが、国交省からの体験車については防災対策課から雨天でも実施可能として進めていた。（吉原部会長部）

中赤：7人で参加。防災倉庫の説明を受けた。国交省の自然災害体験車はストーリーの内容に物足りなさを感じた。3Dも安っぽい印象。

下赤：6人が徒歩で参加。いい経験をした。

菱沼：9人の参加。防災倉庫とペット防災ブースの説明を受けた。自然災害体験車について

は大人と子供では印象の差があるのでは。突然椅子が激しく動き、「川の水が止まっているのは土砂で上流がせき止められから」と、父親が子供に説明しているシーンはインパクトがあった。

室田：7人の参加。 降雨体験車に女性1名男性2名が参加したが、土足厳禁ということで、自前の長くつの使用ができず、裸足で用意されたサンダルを履くことになり、体がとても冷えてしまった。タオルの用意はあった。

高田：10名の参加。7名が徒歩、自転車車が1名、車利用が2名。当日に中止の問い合わせ

があった。本部に統率がなく、参加賞を後日渡すことになってしまった。新しい人にも参加して欲しかった。

ニュータウン：7名参加。それなりにいい経験をしたが、寒かった。

ショクサン：4名参加。雨の中、寒くて早く終わってほしかった。

オクトス：4名が車で参加。大雨でなければもっといい体験となったか。降雨体験車については外からの様子を見て辞退した。事前の説明と異なっていた。市や国交省の方たちは親切だった。

3) 予算

- ・一般経費で賄えるため今期は助成金の申請はしない。

3. 来期の計画

1) 日程について

- ・次回の3月24日の部会で、今期の結果のまとめと併せて、来期の計画案を部会員に提案する。部会員からのアイデアも頂きたい。来期の地区防災訓練の日程は10月～11月と考えている。定例の部会は従来通りの第4金曜日の19時から。コロナ禍の解消次第、会場は講義室から第2会議室とする。

2) その他

地区防災訓練午前の部において、各自治会の無線機チャンネルによる感度明瞭度の良かったのは外付けのアンテナの精度の高さによるためと、アマチュア無線の小池氏から説明があった。

次回の部会は2023年3月24日（金）19時～ 松林公民館 1階講義室を予定。

以上

村松書記作成
吉原部会長承認